

第 4 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和元年 9 月 19 日 (木) 午後 2 時 50 分～午後 4 時 20 分				
会 場	北地区コミュニティセンター 大ホール				
出席委員	五十嵐隆吉委員 (部会長)、澤玲子委員 (副部会長)、神田征男委員、 本間藤雄委員、阿部勝幸委員、山賀好郎委員、工藤真美委員、菅原妙委員、 鶴巻ヨシ子委員、村山和夫委員				
欠席委員	小池静夫委員				
事務局 関係課	北出張所 (川崎所長)、区民生活課 (高桑課長・小林補佐・長谷川主幹) 地域総務課 (参宮副区長・中川補佐・佐藤)				
会 議 要 旨	1 令和 2 年度自治協議会提案事業について 実施事業について検討を行った。				
	[主な意見等]				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>①北区交通マップ</th> <th>②パッククッキング ③カレーライスウォークラリー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転や「生活交通改善プラン」見直しに伴って、部会でも公共交通に対する関心が高まっている。 ・これを機に、区内公共交通を網羅したマップを作成することは意義があると思う。 ・自治協ならではの利用者目線に立ったマップを作成して見てはどうか。 ・配布するのであれば、手に取ってもらえるよう手法を工夫したい。 ・市内 65 歳以上の運転免許保有率が高いことを踏まえ、免許返納しやすい環境づくりが必要になる。その意味で、マップ作成は効果的と思う。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の停電被害を踏まえ、パッククッキングのノウハウを勉強したい人がたくさん出てくると思う。 ・イベントは天候に左右される可能性があるため、実施できるか不安だ。 ・本事業として大々的に実施するよりも、各地域の小さなイベント等で出前講座の形で行ったほうが、より効果的と思う。 ・食生活改善推進委員協議会北支部 (以下、食推という) としても、まずは地域の小規模な行事に呼んでもらって、経験を重ねたいと考えている。 ・食推では、地域へのアプローチ方法に迷っているところだ。地域と食推を結ぶアイデアを考えたい。 </td> </tr> </tbody> </table>	①北区交通マップ	②パッククッキング ③カレーライスウォークラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転や「生活交通改善プラン」見直しに伴って、部会でも公共交通に対する関心が高まっている。 ・これを機に、区内公共交通を網羅したマップを作成することは意義があると思う。 ・自治協ならではの利用者目線に立ったマップを作成して見てはどうか。 ・配布するのであれば、手に取ってもらえるよう手法を工夫したい。 ・市内 65 歳以上の運転免許保有率が高いことを踏まえ、免許返納しやすい環境づくりが必要になる。その意味で、マップ作成は効果的と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の停電被害を踏まえ、パッククッキングのノウハウを勉強したい人がたくさん出てくると思う。 ・イベントは天候に左右される可能性があるため、実施できるか不安だ。 ・本事業として大々的に実施するよりも、各地域の小さなイベント等で出前講座の形で行ったほうが、より効果的と思う。 ・食生活改善推進委員協議会北支部 (以下、食推という) としても、まずは地域の小規模な行事に呼んでもらって、経験を重ねたいと考えている。 ・食推では、地域へのアプローチ方法に迷っているところだ。地域と食推を結ぶアイデアを考えたい。
①北区交通マップ	②パッククッキング ③カレーライスウォークラリー				
<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転や「生活交通改善プラン」見直しに伴って、部会でも公共交通に対する関心が高まっている。 ・これを機に、区内公共交通を網羅したマップを作成することは意義があると思う。 ・自治協ならではの利用者目線に立ったマップを作成して見てはどうか。 ・配布するのであれば、手に取ってもらえるよう手法を工夫したい。 ・市内 65 歳以上の運転免許保有率が高いことを踏まえ、免許返納しやすい環境づくりが必要になる。その意味で、マップ作成は効果的と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の停電被害を踏まえ、パッククッキングのノウハウを勉強したい人がたくさん出てくると思う。 ・イベントは天候に左右される可能性があるため、実施できるか不安だ。 ・本事業として大々的に実施するよりも、各地域の小さなイベント等で出前講座の形で行ったほうが、より効果的と思う。 ・食生活改善推進委員協議会北支部 (以下、食推という) としても、まずは地域の小規模な行事に呼んでもらって、経験を重ねたいと考えている。 ・食推では、地域へのアプローチ方法に迷っているところだ。地域と食推を結ぶアイデアを考えたい。 				
2 令和元年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」について 同事業のこれまでの協議経過を踏まえて、事務局から、具体的な事業案を報告した。また、工藤委員・菅原委員の推薦をもとに、基調講演講師や事例発表のパネリストについて意見交換を行った。					

[主な意見等]

基調講演講師（菅原委員推薦）

- ・一般の参加者にも気軽に来場してもらえよう、楽しく講演してもらえる講師がよいと思う。

→事務局にて調整中。

パネリスト（工藤委員推薦）

- ・普段地域で活動する地縁組織のみならず、民間企業の取り組みもあれば、区内における「見守り」に対する気運が高まると思う。
- ・パネリストは北区内の団体や企業がよい。全般的な内容は基調講演にて取り扱い、パネリストに区内の事例紹介をお願いすれば効果的と思う。

→事務局にて調整中。

3 「北区生活交通改善プラン」の見直しについて

北区生活交通改善プラン（＝北区の公共交通分野に関する基本方針と具体的な施策を示すもの）が今年度、見直しされることに伴い、第1回北区地域公共交通検討会議の資料により、事務局から同見直しについて説明を行った。

これを踏まえて、今後の北区の交通施策について、意見交換を行った。また、同意見は同検討会議へ報告されることになった。

[主な意見等]

別紙資料「北区自治協議会から事前にいただいたご意見等」参照のこと。

以上

北区自治協議会から事前にいただいたご意見等

事前意見聴取

実施	北区自治協議会 地域づくり部会（全11名うち出席者10名）
日時	令和元年9月19日（木） 全体会終了後（14：50～16：20）

ご意見等

- ・市街地の葛塚地区でも、太田や横井等、公共交通の不便な地域がある。JR黒山駅に白新線が通っているが、電車の発着本数が少ないため、通院や買い物に困難を感じる。市街地内部においても、デマンド型交通を含め、移動需要があることを理解してほしい。
- ・郊外においては自動車依存度が高い。都心部では徒歩圏とされる距離でも、郊外では自動車が求められることがある。地域によって交通への認識が異なる現状があると思う。
- ・目的バス（いわゆる白ナンバーバス）について、区内には病院送迎バス以外にも福祉施設が有するバス等もある。高齢者はじめ生活維持のための移動手段は不可欠なため、民間事業者の利益に影響があってはならないが、一方で目的バスにおける、より柔軟な運用について、検討余地があるように感じる。
- ・公共交通とは本来、誰でも利用できることが原則と思う。北区はじめ公共交通を使いたくても使えない区があるのは事実だ。生活交通の維持確保といった“守り”の側面が強調される傾向にあるが、それだけでは不足と思う。
- ・「新潟市地域公共交通網形成計画」では、政令指定都市としての拠点化を目指した基本方針が多く（特に「都心アクセスの強化」・「広域交通との連携強化」・「都心部での移動円滑化」の3方針）、郊外の区における生活交通に関する記述が少ないと思う。関連計画でも、生活交通についてもっと取り上げるべきではないか。
- ・公共交通施策においては、導入当初のコストが高いことは仕方のないことだが、それを重視するあまり中途半端な施策になっては本末転倒だ。初期コストを惜しむ必要はないと思う。
- ・区バスや住民バス等、市と密接に関係する事業が重点的に述べられているが、他方で、新潟交通の独自路線もある。他路線バスも含め、一体的な公共交通網という視点に立って、施策を検討してほしい。
- ・北区ではマイカー依存度が高いため、公共交通に対する問題意識が少し希薄と思う。
- ・資料2別紙において、デマンド交通社会実験の分析も加えたほうがよい。

以上

第 4 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和元年 9 月 19 日 (木) 午後 2 時 50 分～午後 4 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出 席 委 員	清水委員、梅津委員、神田(恭)委員、相馬委員、樺山委員、小林委員 6 人
欠 席 委 員	平松委員、藤沢委員、中嶋委員、佐久間委員 4 人
事 務 局	川崎課長 (健康福祉課)、荒木主幹 (豊栄地区公民館)、佐藤教育支援センター長、高野・深沢 (地域総務課)
会 議 要 旨	<p>○令和元年度第 2 回北区教育ミーティングでのテーマの課題(案)について 資料に基づいて教育支援センター長が説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回の区教育ミーティングで、主に 3 つの課題をいただいたが、その中で A 案の「保護者との関りについて」を中心に論点を絞って意見交換をしたい。 ・第 2 回は、福祉教育部会で 2 グループに分かれて、ディスカッション形式としたい。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学・社・民の融合による教育の推進について触れてほしい ・実際の保護者の意見も聞きたいと思うので保護者も出席させてはどうか → 委員の中には、保護者の立場の方もいるのでご意見をいただきたい。 ・事前に保護者から聞きたいことを募集してはどうか → 保護者へのアンケート調査は回収率が悪いのでどうか <p>○令和 2 年度自治協議会提案事業について</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉課から 福祉教育部会だよりの発行…前回発行した時の反応は良かった。対象を保育園年少からとするなど広げて配布してはどうか。また、自治協委員の意見等が反映され、参画・協働しながら取り組める事業ではないか。 <p>みんなで子育て学ぼうよ…保育参観日等は懇談会や給食試食会を行うなど日程が詰まっている。現在、保育園では「1 日保育士体験」として、保護者の都合に合わせて保育士を体験してもらう中で、子への愛着や育児に対しての気づきや学びに繋げてもらうよう実施している。また長時間園に保護者にいていただく駐車場問題などがあり現実的に難しい。支援が必要な保護者に対しては、妊娠初期から「妊娠・子育てホットステーション」の窓口や健診等の機会を捉えて、随時、必要な方には必要な支援が実施できるよう取り組んでいる。39 園との日程調整や支援者のコーディネートも現実的に難しい。</p>

高齢者向けの交流サロンとボランティアの育成…現在地域の茶の間を推進
しており、市内で約 500 か所、北区でも約 50 か所の茶の間・サロンが開設されている。茶の間の開設には、支え合いのしくみづくり推進員等が関わりながら、自治・町内会等の協力と主体的な活動・取組みが必要不可欠となる。新たな交流の場・茶の間を開設し、学生や地域住民、行政職員からボランティアを募集し、このボランティアを含めた運営とコーディネートをどうやって実施していくかについては、十分な検討と地域住民の協力・協働が必要となる。傾聴スキルについては課内の専門職が業務として対応している。茶の間では、聞き手・話し手という関係から、高齢者の自主性・主体性が引き出せるよう、今行っている事業（区づくり事業：専門職派遣事業）との兼ね合いも考慮しながら、対応できるかどうか整理も必要。

○「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について
・第 1 回 9 月 21 日小林委員参加。

○「全てのママ・パパ応援プロジェクト」について
評価のためアンケートを実施。回答者に粗品進呈。
配布について、こんにちは赤ちゃん事業で個別配布の人へはケースに入れて配布する。
事務局担当部分について内容を確認した。

◎ママ・パパチーム

各項目の担当が 10 月 10 日までに事務局へ原案を提出することとした。

「大事なことってなんだろう」を各ページに作ることにした。

◎応援団チーム

欠席者が多かったため打ち合わせなし。今回の配布資料を次回検討する。

○豊栄地区公民館から北区育成協研究大会について

11 月 17 日(日)北区育成協研究大会が北地区コミュニティセンターで開催。

「子どものネット依存について」がテーマ。

第4回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和元年9月19日（木曜） 午後2時30分～午後3時00分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室2
出席委員	本間(久)副部長、赤間委員、松田委員、原委員、黒川委員、皆川委員
欠席委員	阿部(美)部長、渡邊委員、本田委員
事務局 関係課	菊地建設課長、産業振興課（山際課長、村山係長）、高桑区民生活課長、 地域総務課(本田課長補佐、高田)
会 議 要 旨	<p>1 「子どもと音楽の出会い創出事業」の振り返り</p> <p>9月11日（水）に開催した「コンサートホールによろこそ」についてアンケート結果を確認し、振り返りを行いました。</p> <p>[アンケート結果]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 回答数：694人 回答率：97.6% </div> <p>○コンサート内容について、約87%が「良かった」「まあまあ良かった」と回答。</p> <p>○感想抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段はあんまりコンサートなど行かないけど、この体験を通して楽器のコンサートなどに行きたいと思った。 ・初めて、生でヴァイオリンを聴いた。すごく楽しかった。「かんぱいのうた」などのこまかいリズムのある曲も感動した。席の近くを歩きながら演奏して下さって嬉しかった。 ・ヴァイオリンとピアノの音の重なりがきれいですてきだった。大人になったらまた来たいと思った。 ・私はあきっぱいのでどうかな？と思っていたけど、MCも楽しくて、クイズもあって、ヴァイオリンを生で聴くのははじめてだったので楽しかった。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に素晴らしかった。子どもたちにとって、とても良い経験だったのではないかな。 ・とても良い一日だった。子どもたちもしっかりルールを守って聴いていて良かった。 ・子どもたちなりに何かを感じ取っていたのではないかな。 <p>2 令和2年度自治協議会提案事業について</p> <p>令和2年度自治協議会提案事業について議論しました。次回（10月）の部会にて最終決定とします。</p>